

窓から見える リアル

法中校長室通信



I have Haby!

R7,1,24

文責:船越 路央



初冠雪の日の朝。

生徒玄関前に、何百何千もの足跡を見つめました。足の大きさ、靴の種類は其々ありますが、皆一様に玄関に向かっています。写真右手の自転車小屋からもいくつかの足跡が見えます。雪にタイヤをとられながら、がんばって登校した姿を想像します。学びに来る生徒たち一人一人の想いを受け止め、一人一人の夢実現の支えとなる学校になるために、私たちがすべきことは何だろう... 私たちが守るべきものはなんだろう...



イチローと狐が教えてくれた



「かんじんなことは目に見えないんだよ」

この言葉は、フランスの作家『星の王子さま』(サン・テグジュペリ作)の一節です。小説を小学生の時に読んだ人もいかもしれませんが、この小説は、人間にとっての真実が随所に出てきて、大人になった今でも、ストレートにパワーメッセージが心にとびこんできます。小説の中で、王子は狐から「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。」と諭されます。目の前に映る現実だけが真実ではなく、純真な心の目でものごとを見るのが大切であることをこの小説は教えてくれます。そして、昨年末に放送された、ドキュメンタリー番組「情熱大陸」で、マリナーズの会長付特別補佐を務めるイチロー氏が出演し、データ重視が進む大リーグの野球に警鐘を鳴らされていたが、狐と同じような発言をされていました。

イチロー氏は「危ないよね、この流れは。」と危惧した上で、次のように語られました。

「目で見える情報をデータにインプットして、そうなのかって(納得する)。...選手の気持ち、メンタルはデータに反映されないわけ。...目に見えないことで大事なことはいっぱいあるのにな。でもみんなそれ(データ重視)をやるから、その勝負みたいになっちゃって」と語られていたことが印象的でした。

学校は今、様々なアンケートや情報処理の中で、データを引き出し、分析し、理解しようと努めていますが、データでは表出されないものを、我々教師はいわゆる「肌感覚」で瞬時にキャッチし、個々の生徒の指導にあたっています。

かかとを踏みながら登校する子、ネクタイがしわくちゃん子、給食の残菜が増えてきた子、ノートにポテトチップをはさんで提出してくる子(笑)。私たちにできることは限界がありますが、現実だけを見て判断せず、心の目(内の目)を大切にしながら、生徒一人一人の真実を見ていきたいとあらためて考えました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

最後に『三日月』という、素敵な詩を紹介します。(いかついくんばしのイメージが最初と最後で変わってきませんか?)

三日月 松谷みよ子

いかついくんばしを
胸ふかくさしいれ
くらい森をみはりながら
ふくろうは かんがえる

生まれくる子には
赤い三日月をとってやろう
上につてゆうらりゆれたり
ころがしたり

くわえたりしてあそぶだろう
森がそこだけ
ぼうつとひかるだろう
きのこなんかも ひかるだろう

やがて父親となるくくろうの
いかついくんばしが
つぶやいている

松谷みよ子



生徒の
名言

私たちの強みはチームワークのよきなので、打楽器の方が
それを生かせると思ったのです (吹奏楽部: 種部長より)

吹奏楽部(部)は2月1日(土) トリキ文化会館で、全日本アンサンブルコンテスト中野大会に出場です。